

第 52 回 SSN 勉強会

「地域での親子観察会の開き方」～千葉市幕張本郷地区に学ぶ～

小川洋子（八千代市）

日 時：2011 年 10 月 30 日（日）午前 10 時～午後 3 時

講 師：午前 八木千里（SSN 担当）

午後 八木千里、河添寿子

場 所：午前 千葉市花見川区幕張台公園、児童公園

午後 千葉市花見川区幕張本郷 4 丁目自治会館

参加者：井上(智)、小川、河添、小林(五)、酒井、佐口、高井、田中(玉)、松山、

八木(千)、山田(益) 11 名

地元の参加者：大人 7 名（協力者 4 名、一般 3 名）、子ども 12 名

ようやく秋らしくなってきた 10 月 30 日、今回の講師：八木さんの地元幕張本郷地区で親子観察会を開き、実践しながら学ぶ SSN の勉強会が行われた。幕張本郷は一面の畑を切り開いて整備された住宅地で、自然が少なく地元の方々の自然への関心は決して多いとは言えないという。会場の幕張台公園は宅地化に伴い作られたもので、このような都市公園は四季折々楽しめるように樹木が植えられていて、観察会や四季の変化に親しむのに向いているので、それを知ってもらうためにもここでの観察会を企画したとのことだ。

今回の対象は、地元上の台小学校の子どもたちとその親とし、自治会に回覧板を回してもらい、小学校にポスターを持ち込み各クラスに貼ってもらいよう依頼して、地元の方への呼びかけをしたそうだ。来るかどうか心配されたが、低学年を中心に 12 名の子どもの参加があった。観察会では園内のユリノキの種を拾う、木肌に触れてみる、イチヨウの葉で動物の顔を作るなど様々なアクティビティを行い、子どもたちが日頃触れることが少ない木や葉や種に触れ、楽しんでいる様子が見て取れた。その後、途中幕張本郷の台地から浜田川を見下ろし、地形や歴史にも簡単に触れながら近くの児童公園に移動、今度はドングリを使ったやじろべえ作り。河添さんと八木さんの指導で慣れない手に錐を持ち一生懸命ドングリの穴あけに挑戦する子どもたち、どの子も自分で作る楽しさを十分感じているようだ。やじろべえが完成したところで観察会は終了。子どもたちはドングリなどのお土産を手迎えの保護者と帰宅。心なしか自分の作品が誇らしげだ。



午後は自治会館で、八木さんから今回の企画の動機や実施までのご苦労を伺った。また、参加指導員からはそれぞれの地元での活動も話し合われた。今の子どもたちは塾やスポーツなどで多忙な上、学校の総合的な学習の時間数減少等で、自然観察などの時間は少なくなっている。だが、ここでの観察会を根付かせたいという八木さんの決意が感じられ、学ぶところ多く有意義な勉強会だった。